

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 一関市かるがも千歳教室

公表日 令和8年3月24日

利用児童数 36名 (公表日時点)

回収数 25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2				個別指導専用のスペースがない為、1つの部屋をパーティションで区切って指導を行っています。 今後も工夫を重ねながらスペースを確保し、よりよい支援に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1				配置基準に基づいた職員を配置し、安全に活動できる体制にしています。 職員の休暇時や日頃の活動における安全確保等に十分対応できるよう、職員配置等の適正数維持に努めます。 今後も職員の専門性を高め、技術及び療育の質の向上を目指します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		3		公共施設内の事業所のため、設備面の即時改善は難しいですが、出来る限りの環境改善に努めていきます。 視覚支援を行うなど情報伝達への配慮は今後も継続するほか、可能な限りお子様が落ち着いて活動に参加できるような環境づくりに努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	6			・支障はないがもう少し広く開放感が欲しいかなと思います。 ・トイレの手洗いが水しか出なく冬つめたい。	日々の清掃のほか、空気清浄機の使用や感染症防止対策として活動場所や教材の消毒も継続して行っています。 公共施設の一部を活用していることもあり、設備面の改善は難しく活動スペースの確保も課題の一つとなっています。 今後も活動内容により過ごしやすい環境設定を行いながら、限られた空間をうまく活用していきます。
適切な 支援の	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2				保護者に記入のご協力をお願いしている児童調査票をはじめ、聞き取りや日々の支援での見立てを大切に一人ひとりの理解に努めています。 また、園訪問を実施して幼稚園・保育園等との情報共有・連携を行い、保護者の困りごとや相談にも対応しやすい体制づくりに取り組んでいます。 研修への積極的な参加など指導員のスキルアップの機会を大切にし、専門性の高い支援の提供ができるよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		3		支援内容に齟齬が生じないように努めています。今後も適切なプログラムの公表や支援内容の適正化に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1		1		保護者からの聞き取りのもと、お子様一人ひとりの特性や興味関心、状況に合わせたアセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。 活動を行うにあたっては、見立てをしつかりと行い、発達状態に応じた活動になっているか、内容に無理や危険性がないかを常に確認しながら計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				個々の特性に応じた支援内容を盛り込み、関係機関との連携に努めています。 今後もガイドラインの視点を考慮しながら適切な支援内容を設定できるように努めます。また、児童発達支援ガイドラインの内容について、今後も職員間で共有しながら、理解を深めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
提 供	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2				児童発達支援計画に則った支援内容をその都度検討しており、お子様一人ひとりの状態や特性に合わせ職員間で協議しながら指導を工夫しています。また、保護者との共通理解を図りながら支援を行うよう努めています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1				季節感のある活動を取り入れ、お子様の特性やその日の状況を加味しながら、主体的に取り組める内容を工夫しています。また、お子様の出席状況も考慮しながら、プログラムが適切か検討しています。今後も半期ごとに立案する支援計画の達成状況などを考慮しながら、最適な活動プログラムとなるよう検討を重ねます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1	2	4		就園しているお子様が大半のため、事業所の支援内容としては交流の機会を設けていません。市内には重度の障害を持っているお子様を対象とした保育園事業があり、通所児が利用する場合に同行していますが、今年度は参加者がいなかったことなどから来年度に向けて調整中です。保育園事業については、保護者の皆様の希望も踏まえながら、積極的に利用できるよう今後も働きかけていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			1		児童発達支援の提供開始にあたり、初回契約時に契約書及び重要事項説明書の内容について丁寧に説明しています。今後もより丁寧な説明を心掛けるほか、必要に応じて都度説明を行うなど安心して支援を受けられるよう努めます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1		保護者の希望や要望、発達評価や発達検査の結果等を踏まえて、児童発達支援計画を作成しています。また、内容について保護者に説明し、同意をいただいています。今後も、分かりやすく丁寧な説明に努めます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19				6		活動後のフィードバックの際には、療育で行っている内容やペアレント・トレーニングの考え方をともに、ご家庭でも取り入れやすい声かけや関わり方をお伝えしています。また、必要に応じて、こども家庭課主催のペアレント・トレーニングへの参加を案内しています。今後も、ご家庭での不安の軽減につながるよう、より分かりやすく役立つ支援に努めます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1			1		活動時の連絡シートの記入や活動後のフィードバックを通して、お子様の状況について保護者と共有し、共通理解に努めています。今後も電話相談への対応や、保護者が話しやすい雰囲気づくりに努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22		3				活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。今後も必要に応じて面談の機会を別途設けるなど、支援の充実に努めます。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24		1				お子様の気持ちを可能な限り汲み取り共感することをはじめ、保護者の日々の苦勞や努力、悩み、成長の喜びなど活動の都度生まれる気持ちを大切に、一人ひとりに寄り添った支援に努めます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	3	9		今年度も保護者同士の交流の機会として「親の会」開催しました。来年度以降も皆様のご希望を伺いながら、保護者が参加しやすい形態での実施を検討し、おたより等で周知します。 一方、きょうだい同士の交流等については実施していないため、きょうだい向けの支援についてはあり方を検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		2		活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。お子様と保護者に寄り添いながら支援ができるよう、今後も相談しやすい環境づくりを進め、迅速かつ適切で丁寧な対応を心掛けます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				マカトンサインや写真、絵カード等を用いて、お子様の状況に応じた個別支援を行っています。 また、保護者への連絡については、必要に応じて書面で提供を行っています。 引き続き、個々の状況に応じた適切な配慮を行います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	4		2		毎月おたよりを発行し、必要に応じて親だよりの発行も行っていきます。自己評価の結果については、例年3月末までにホームページ等で公開します。 今後は、よりわかりやすい情報発信に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1		職員間での個人情報の取り扱いについては、随時、注意喚起を行っています。 引き続き、個人情報の厳重な管理及び適正な取り扱いに努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21			4		すべてのグループを対象に、緊急時の避難訓練を実施しています。 緊急時や感染症等に関するマニュアルについては、保護者への周知・説明の方法について検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		4		すべてのグループを対象に、緊急時の避難訓練を定期的に実施しています。 今後も訓練の定期的な実施を継続するほか、訓練に参加できなかった方や訓練後に入所された方への避難方法の周知を含め、より効果的な訓練方法を検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24			1		安全計画を策定し、安全確保には十分注意して日々の支援を行っています。 今後は、より分かりやすい周知方法を検討します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		7		親子で通所する事業所のため、万が一の怪我や事故が発生した際には、速やかに情報を共有しています。保護者の見えない場所での怪我等についても状況を説明し、適切な対応を行っています。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1	1		・自分にとってなじみの場所であり、先生方にも良くしてもらっているのが非常に安心していると感じます。	お子様が安心して通所できるよう、支援内容の工夫や環境整備を継続して行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	1	1	・自分が通所する日を確認して、前日から楽しみにしています。	年齢、個々のねらいに応じた活動を楽しむよう設定しています。 お子様が楽しみながら参加できるよう、お子様の楽しい気持ちをより一層引き出せるような活動内容の工夫や環境整備に努めます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2			<p>・親として、ごどもへの理解が深まったのも先生方のおかげです。</p> <p>・毎回の活動、色んな発見と成長を感じています。いつも優しくご指導して頂きありがとうございます。とても満足しています。</p>	<p>これからも指導員間での情報共有とスキルアップ、内部研修などを行い、専門性を高めて更に満足いただける支援を提供します。</p> <p>教室の支援内容をご家庭でも活かせるよう、活動のねらいをお伝えする、お子様への声かけのポイントをお知らせするなど、保護者にとっても有意義な支援を目指します。</p> <p>通級日数の確保については、多くのお子様にかかるがも教室をご利用いただけるよう、一人あたりの利用回数が月2回程度となっているところです。多くのお子様にご利用いただきつつ、現在ご利用いただいているお子様の日数確保についても引き続き検討していきます。</p>